

地下貯水工法 (プラスチック製滞水材による都市型洪水対策工法)

大成ロテック株式会社
営業本部 営業企画部

☎ 03-5925-9436

URL <http://www.taiseirotec.co.jp/technicalinfo/groundwater/> ✉ kunihiko_ito@taiseirotec.co.jp

概要

本工法は、都市型洪水に対応するため制定された「特定都市河川浸水被害対策法」を背景に、年々施工実績が増えている、プラスチック製滞水材とシートを組み合わせて地下に雨水貯留槽を構築する工法です。

本工法は、地下に空隙率 90%以上のプラスチック製滞水材をシートで包み込んだ貯留槽を設け、その空隙に雨水を貯留するもので、これにより、下水道や河川への雨水流出を抑制し、その負荷を軽減させるものです。

特に、本工法は、近年多発している都市部のゲリラ豪雨への洪水対策に対し、既存の公園広場・グラウンドや駐車場、土地区画整理事業や民間造成地などの地下空間が有効に利用できる柔軟性の高い対策工法でもあります。

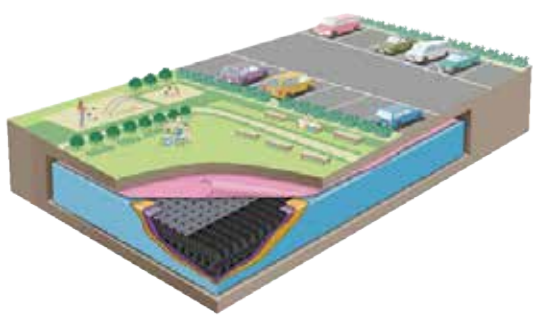
特長

- プラスチック製滞水材を利用するため、高空隙率を確保でき、貯留量が大さい
- コンクリートによる貯留槽と比較し、軽量で施工が容易であり、工期短縮、低コストである
- オープン調整池と比較し、土地の有効活用が可能で、転落事故のリスクがない
- 使用する滞水材は、同一部材を千鳥配置し積層する構造であり、類似工法と比較し、貯水槽としての安定性や耐久性が高い
- プラスチック製滞水材のため軽量で、狭小部の地下でも施工が容易
- シートにより貯留型と浸透型に選択できる

施工実績

延べ 2,850 件以上、44 万 t 以上

施工事例



地下貯留槽のイメージ図



施工中



施工完了